

決算説明資料

2019年3月期

自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



西部電機株式会社

(東証二部・福証 証券コード6144)

目 次

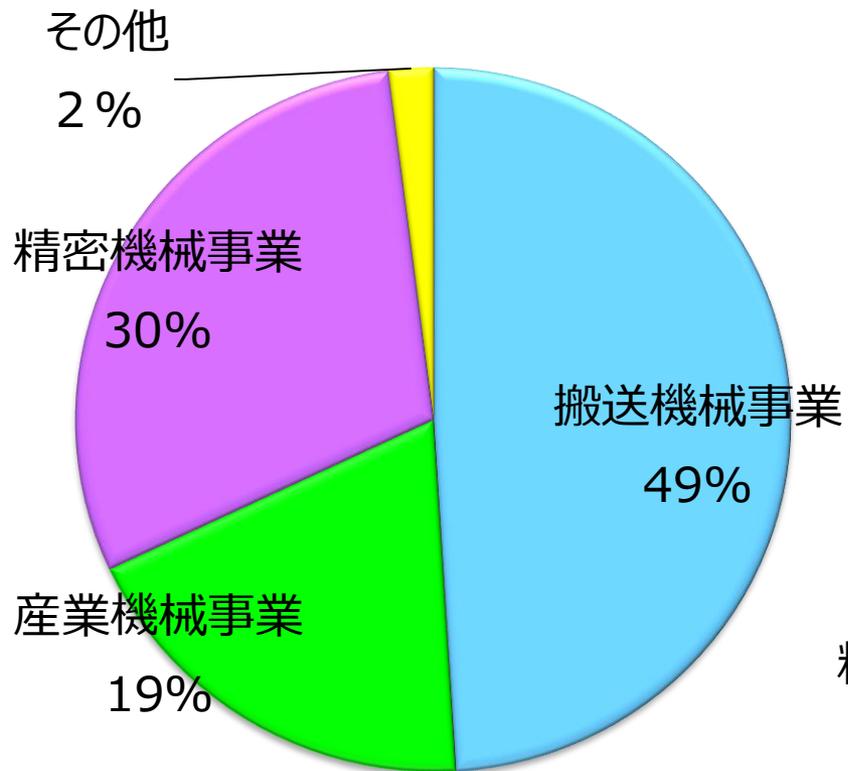
◇ 会社概要	2
◇ セグメント別売上高比率	3
◇ 経営環境	4
◇ 2019年3月期 連結業績（概要）	5
◇ 2019年3月期 連結業績（推移）	7
◇ 受注高（セグメント別）推移	8
◇ 売上高（セグメント別）推移	9
◇ 営業・経常・当期純利益推移	10
◇ B S（連結）	11
◇ C F推移	12
◇ 2020年3月期 経営方針	13
◇ 2020年3月期 今期の重点施策	14
◇ 2020年3月期 業績予想	15
◇ 2020年3月期 セグメント別売上高予想	16
◇ 設備投資、減価償却費、研究開発費	17
◇ 各事業の概況と通期見通し等	18
◇ 配当政策、株主還元に対する考え方	27
◇ 「チャレンジ240」中期経営計画	28

会社概要

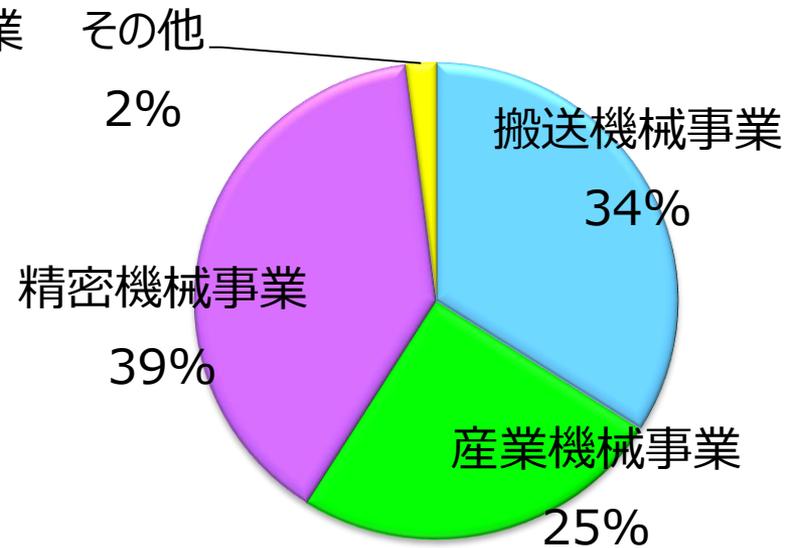
商号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6144
上場	東証2部(2006年) 福証(1986年)
本社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創業	1927年1月
資本金	26億58百万円
発行済株数	15,160千株
時価総額	122億7千9百万円(2019年5月28日現在)
売上高	292億9千9百万円(2019年3月期:連結)
従業員	494名(連結) 442名(単体)
グループ会社数	3社 西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社
HPアドレス	https://www.seibudenki.co.jp/

セグメント別 売上高比率

< 2019年3月期 >



< 2018年3月期 >



2019年3月期の経営環境

プラス要因

- 政府による経済政策・金融政策・国内の労働力不足対策
- 企業収益や働き方改革を含む生産性向上需要

マイナス要因

- 米中貿易摩擦や欧州の政治情勢の不安定さ
- 中国やアジア新興国経済の減速懸念

緩やかな景気回復基調ではあるが・・・

米中間の経済摩擦などの懸念材料を抱え、
依然として先行き不透明な状況が続いている

2019年3月期 連結業績（概要）

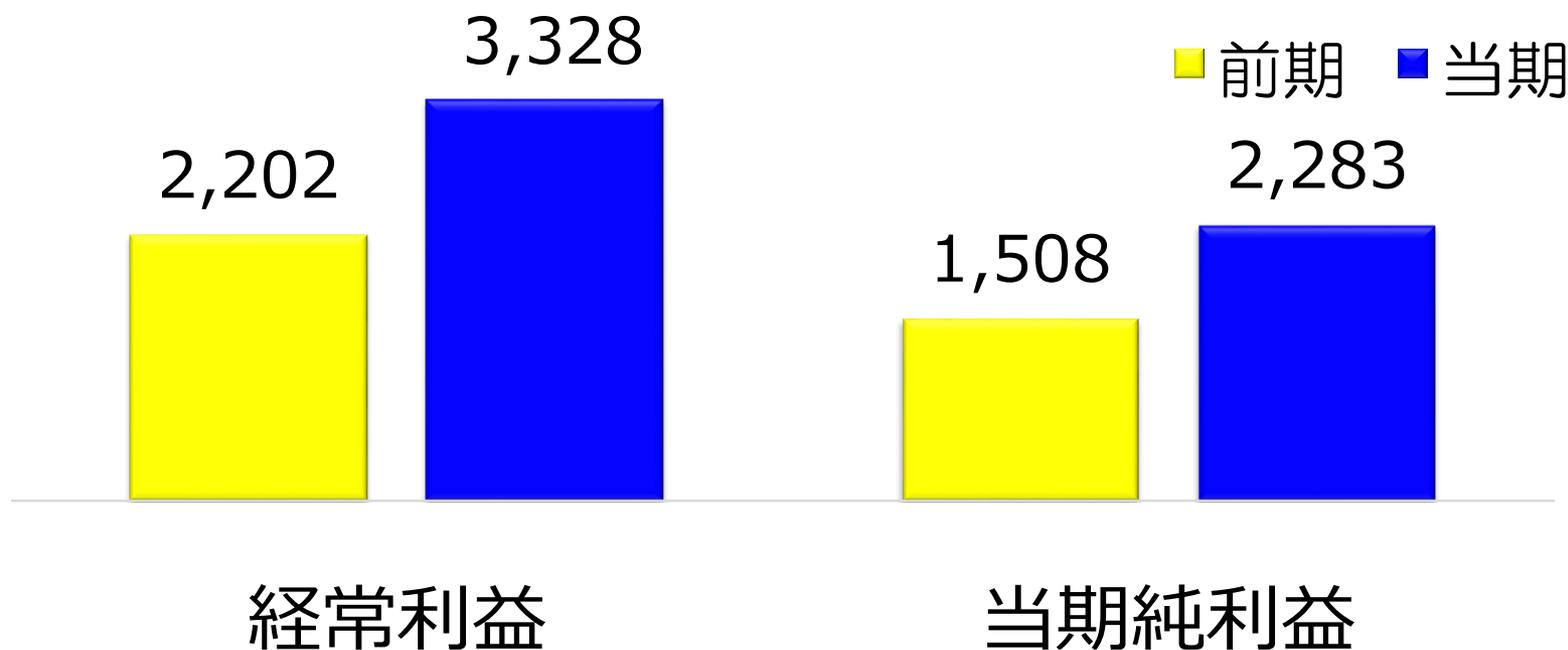
	当 期	前期比増減
受 注 高 （百万円）	27,963	△6.1%
売 上 高 （百万円）	29,299	+27.9%



- 受注高は前年には及ばなかったが過去2番目の実績。
- 売上高は過去最高の実績を記録。

2019年3月期 連結業績（概要）

	当 期	前期比増減
経常利益（百万円）	3,328	+51.1%
当期純利益（百万円）	2,283	+51.4%



- 過去最高の経常利益。（初の30億円超）
- 当期純利益は過去2番目。過去10年では最高を記録。

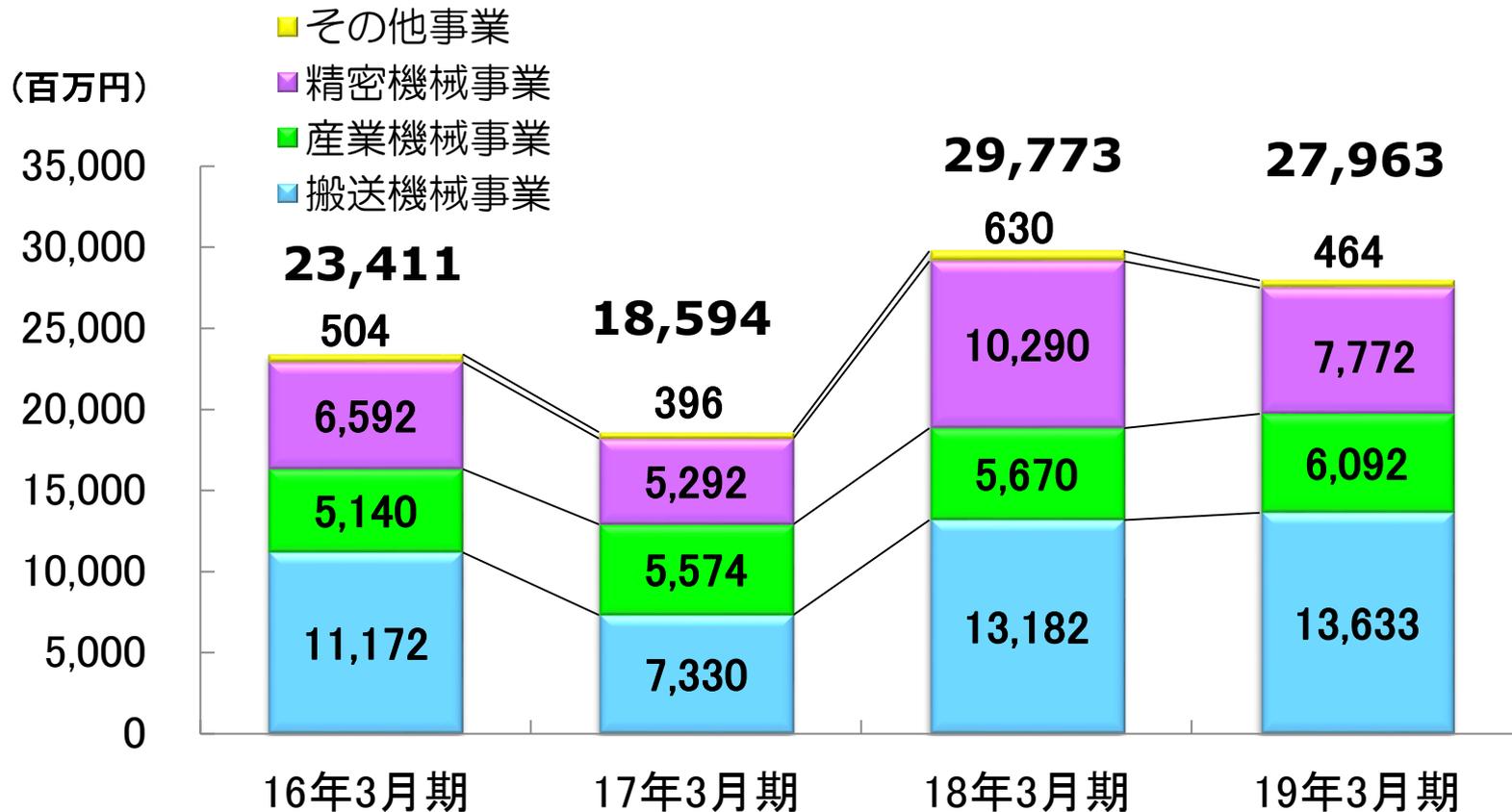
2019年3月期 連結業績（推移）

単位(百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 期初予想	2019年3月期 実績	前年実績比 (%)	期初予想比 (%)
受注高	29,773	22,900	27,963	△ 6.1	22.1
受注残高	12,300	9,200	10,964	△ 10.9	19.2
売上高	22,914	26,000	29,299	27.9	12.7
売上総利益	6,407	6,140	7,867	22.8	28.1
営業利益	2,141	1,980	3,198	49.4	61.5
営業利益率(%)	9.3	7.6	10.9	1.6pt	3.3pt
経常利益	2,202	2,030	3,328	51.1	63.9
当期純利益	1,508	1,370	2,283	51.4	66.6

- 期初予想に比べ、受注、売上高ともに大幅に増加。
- 受注のみ若干前年に及ばなかったが、増収、増益。
- 経常利益、当期純利益とも期初予想に比べ60%以上の増加。

受注高（セグメント別）推移



➤ 19年3月期のポイント

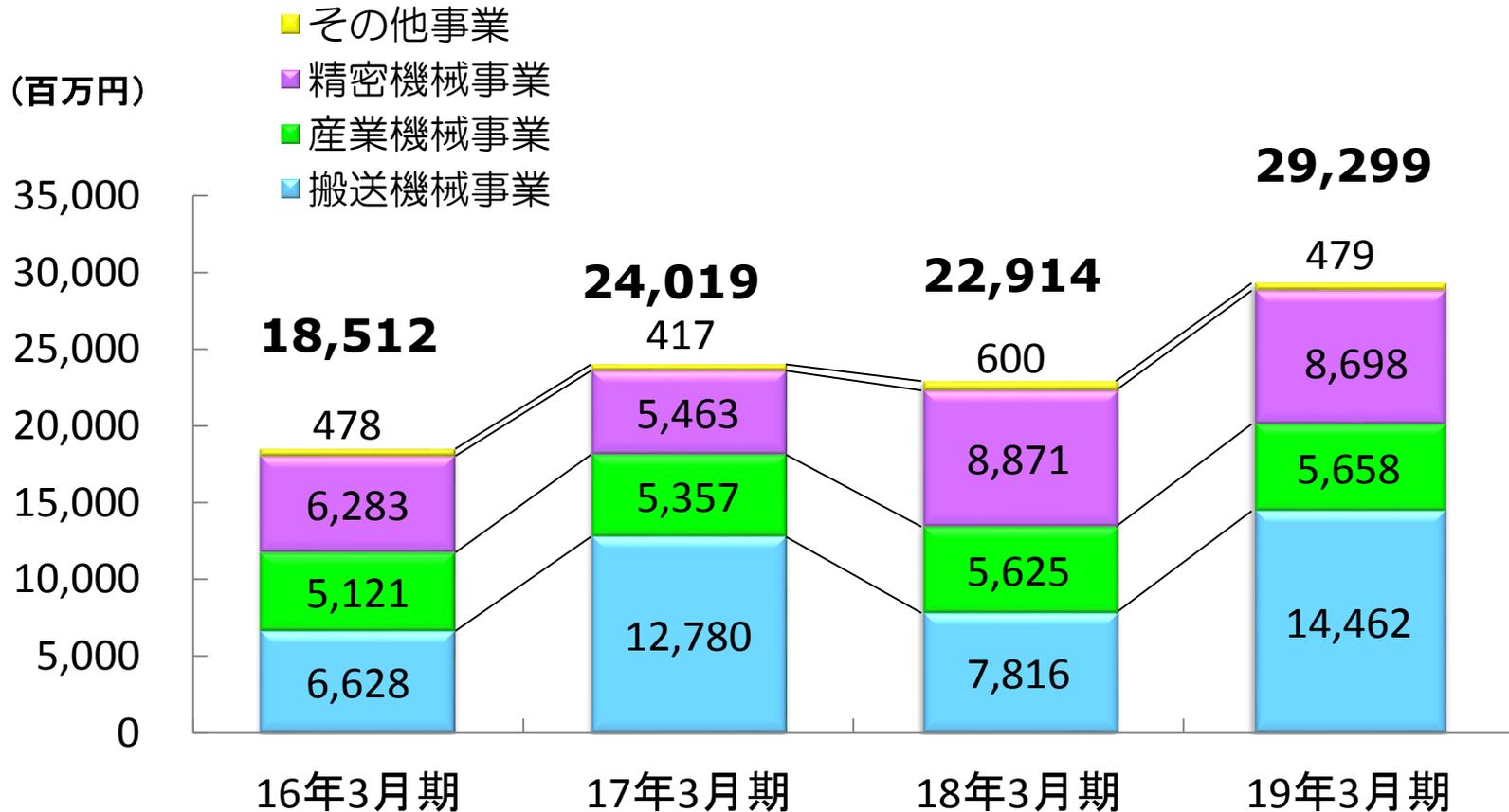
搬送機械事業は、大型物件の成約、新規拡販の結果過去最高を記録。

精密機械事業は、米中摩擦の影響を受け輸出が低下したものの、過去2番目となる約78億円の受注。

産業機械事業は、民需開拓を進め、三期連続微増。

全社では、279億6千3百万円と過去最高の前年に及ばなかったが2番目実績を確保。

売上高（セグメント別）推移



➤ 19年3月期のポイント

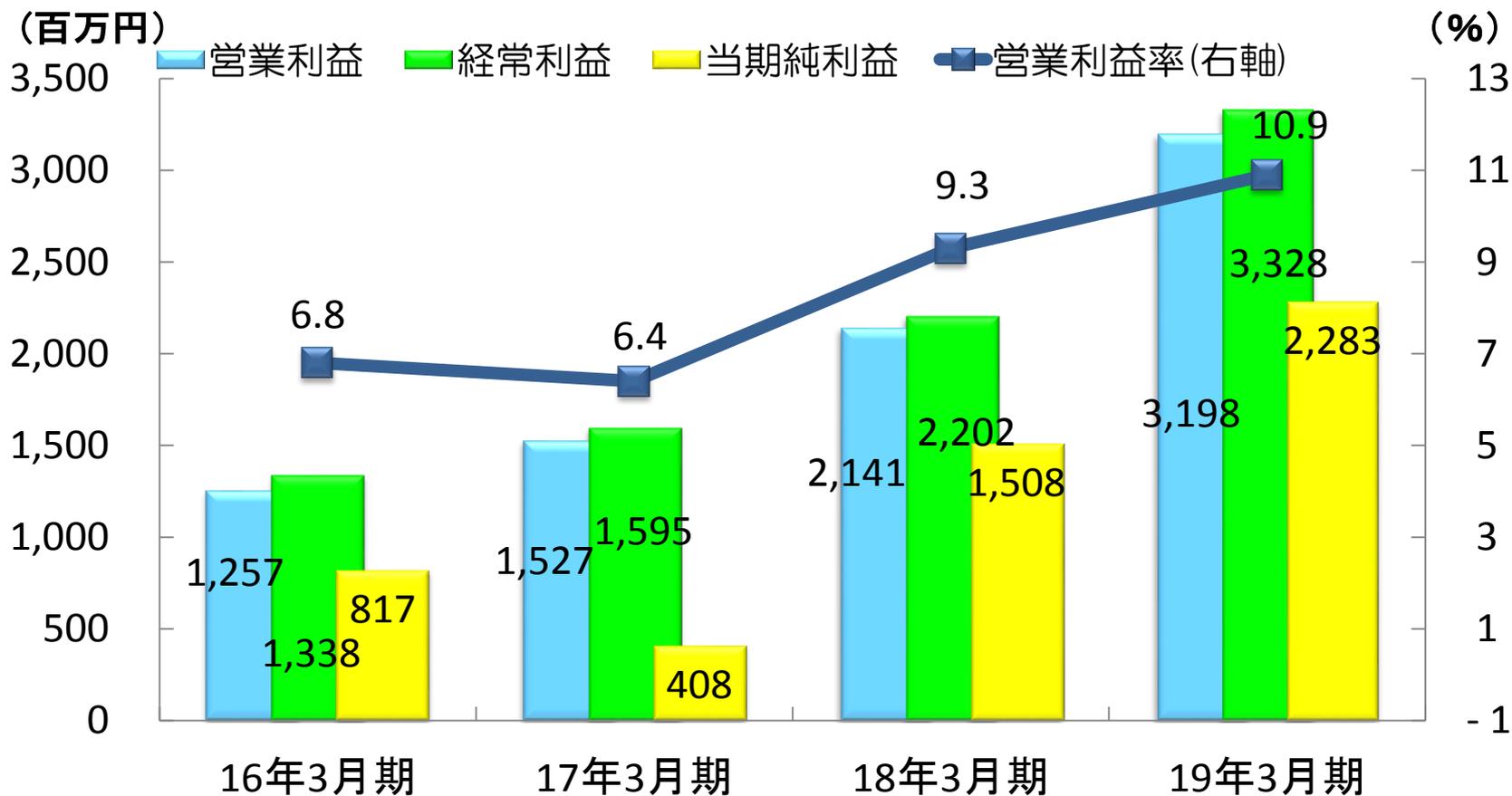
搬送機械事業は、大型物件の納入によって過去最高の約144億6千2百万円の売上。

精密機械事業は、前年に続く過去2番目の約86億9千8百万円の売上。

産業機械事業は、3期連続の微増。

全社としては、過去最高の約292億9千9百万円となった。

営業・経常・親会社株主に帰属する当期純利益推移



➤ 19年3月期のポイント

売上の増加に伴い、各利益とも増益（営業利益・経常利益・当期純利益）。搬送機械事業の拡大に伴う一部材料費の増加に対しては、設計や製造現場の効率化によるコストダウンの取り組みが効果を発揮。

連結貸借対照表

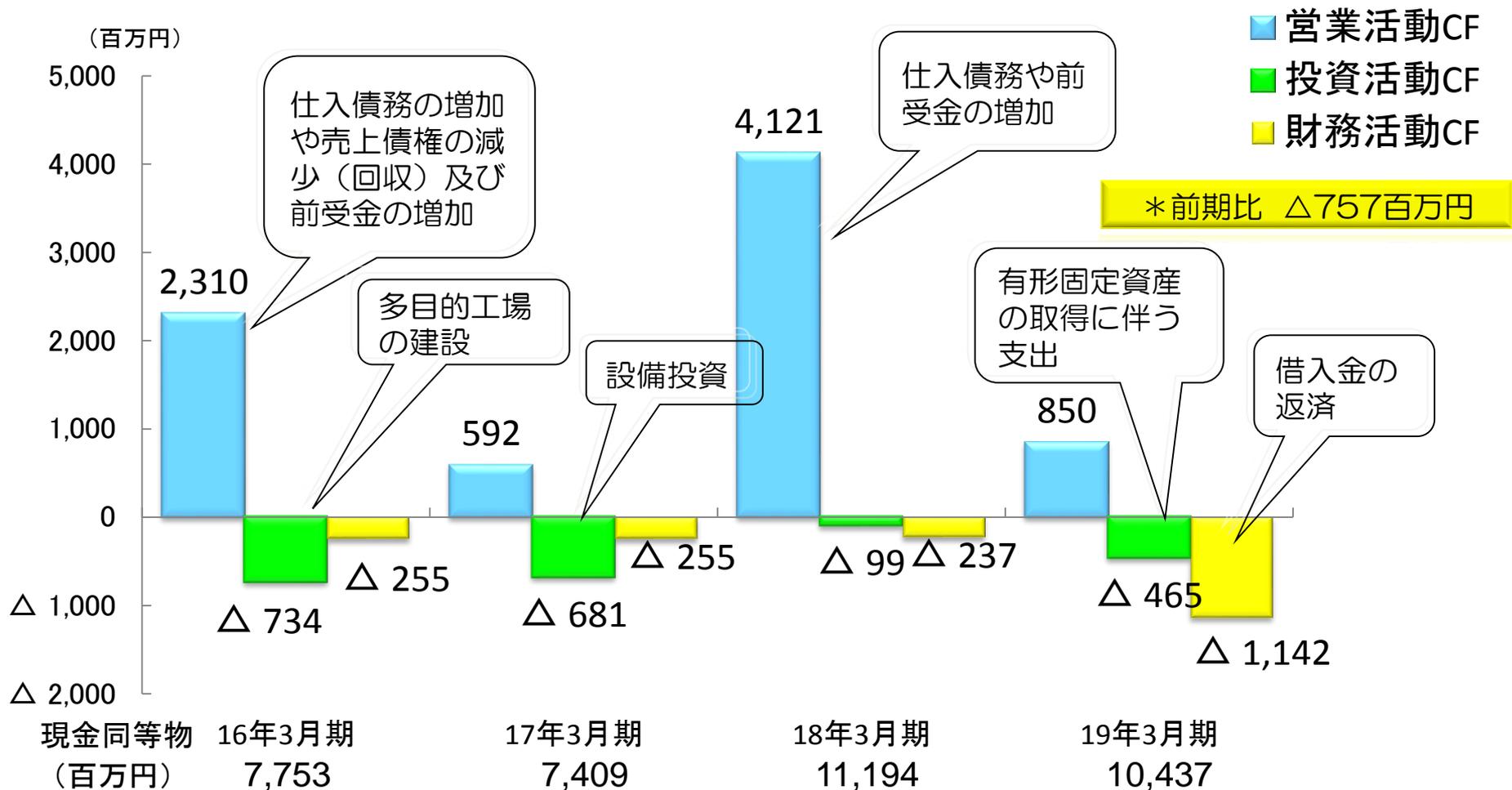
単位(百万円)

	2018/3月期 通期	2019/3月期 通期	増減	ポイント(前期比較)
流動資産	23,280	24,100	820	
固定資産	15,405	15,028	△ 377	投資有価証券の時価減少による減少
総資産	38,686	39,129	443	
流動負債	12,997	13,146	149	
固定負債	4,174	3,648	△ 526	長期借入金返済による減少
純資産	21,514	22,334	820	利益剰余金の増加等による増加
負債及び純資産	38,686	39,129	443	
(自己資本比率)	55.6	57.1	1.5pt	

➤ 19年3月期のポイント

- ①固定資産 (377百万円の減少) : 投資有価証券の時価減少。
- ②固定負債 (526百万円の減少) : 長期借入金の返済。
- ③純資産 (820百万円の増加) : 利益剰余金の増加等による増加。

キャッシュフロー推移



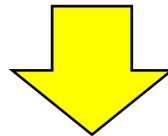
➤ 19年3月期のポイント

借入金の返済及び有形固定資産の取得に伴う支出により、現金及び現金同等物は減少。

2018年度から2020年度までの中期経営計画
『 チャレンジ240 』

2019年度経営スローガン

中長期計画の達成に向けて
チャレンジして行こう



重点施策

『受注の確保』 『コストの削減』 『品質の向上』

『受注の確保』

- 国内外のサービスの強化。
- 顧客ニーズに応え、競合と差別化ができる、製販一体型の技術開発と営業活動推進。
- 目先だけにとらわれず、3年後、5年後を考えた製品、サービス戦略を展開。

『コストの削減』

- 機械設計力の強化。
- IT導入による、作業工数削減、作業品質向上の推進。
- 技能継承による作業効率upに注力する。

『品質の向上』

- 品質は企業の命であり、客先より信頼を得るための最低条件である。
チェック機能を働かせ、品質不良をなくす。

2020年3月期 業績予想

単位(百万円)

	2019年 3月期実績	2020年3月期予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
受注高	27,963	9,550	20,600	△ 7,363	△ 26.3
受注残高	10,964	10,760	9,350	△ 1,614	△ 14.7
売上高	29,299	9,750	22,200	△ 7,099	△ 24.2
売上総利益	7,867	2,310	5,480	△ 2,387	△ 30.3
営業利益	3,198	360	1,480	△ 1,718	△ 53.7
営業利益率 (%)	10.9%	3.7%	6.7%	△ 4.2pt	—
経常利益	3,328	395	1,560	△ 1,768	△ 53.1
当期純利益	2,283	275	1,080	△ 1,203	△ 52.7
1株当たり純利益 (円)	150.71	18.15	71.29	△ 79.42	—

➤ 20年3月期のポイント

- 受注高は、大型物件と輸出の減少が想定されるが、得意の提案型営業で顧客の獲得を目指す。
- 売上高は、受注に連動し減収が見込まれるが、4年連続の220億円超を目指す。
- 経常利益は4年連続15億円超、当期純利益は3年連続の10億円超を目指す。

2020年3月期 セグメント別 売上高予想

単位(百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
搬送機械事業	14,462	4,900	10,000	△ 4,462	△ 30.9
産業機械事業	5,658	1,710	5,820	162	2.9
精密機械事業	8,698	2,890	5,890	△ 2,808	△ 32.3
その他事業	479	250	490	11	2.3
合計	29,299	9,750	22,200	△ 7,099	△ 24.2

➤ 20年3月期のポイント

搬送機械事業 : 大型物件を納期通り納入。

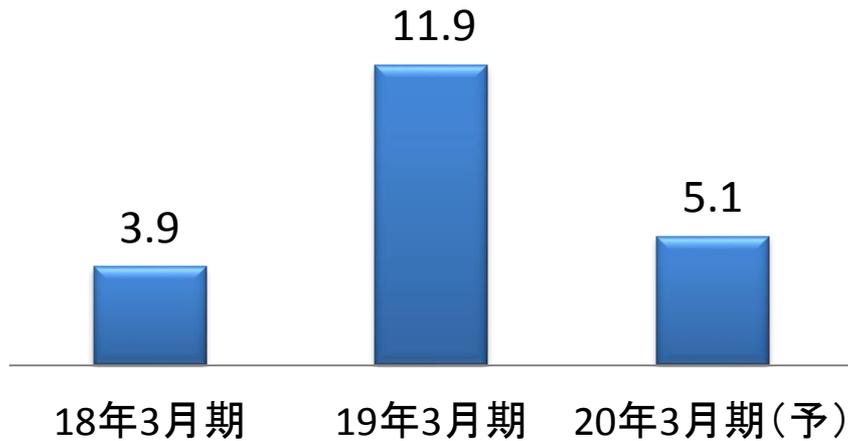
産業機械事業 : サービスと連携して官需の市場拡大、民需拡販。

精密機械事業 : 国内外での新規市場への拡販。

設備投資、減価償却費、研究開発費

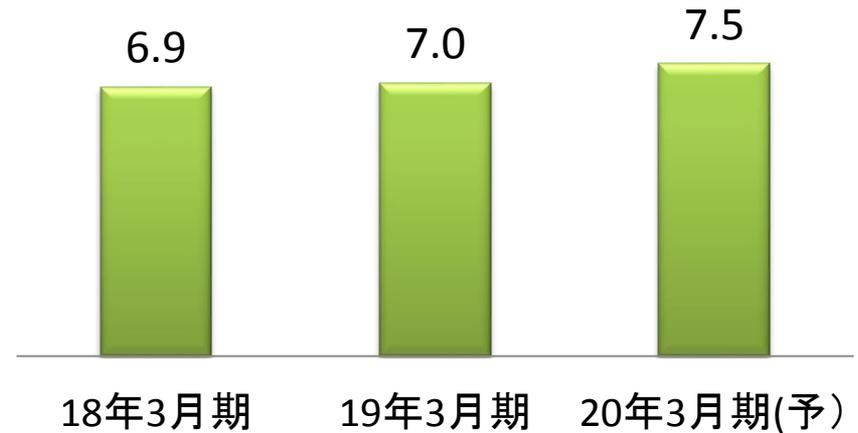
(億円)

■ 設備投資額



(億円)

■ 研究開発費



(億円)

■ 減価償却費



【設備投資額】

- 19年3月期は、精密第2工場の新設。
- 20年3月期は能力増強のためのマシニングセンター導入。

【減価償却費】

- 減価償却費は、前年度並み。

【研究開発費】

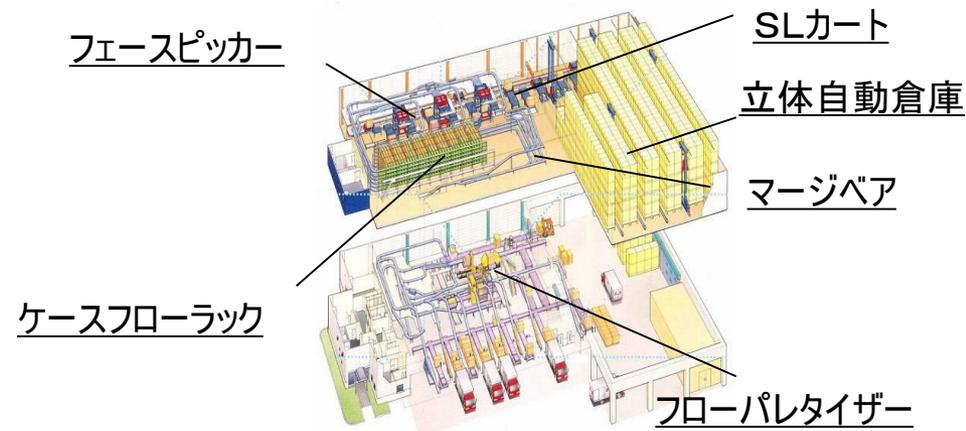
- 市場や顧客にターゲットを絞った研究開発。

搬送機械事業の概況

【Seibuピッキングシステム概要】

□ 主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン



□ 事業の特徴

- 自社開発・販売
- オンリーワン商品
- 24時間対応サービス体制
- 優れたソフト開発力

□ 主な納入先業界

< 業 界 >
食 品
医 薬 / 化 学
機 械
電 気 機 器
そ の 他

□ シェア(推定値)

- 立体自動倉庫市場 20%
- ピッキングシステム
(高速分野) 20%
- 無人加工システム市場 40%

搬送機械事業

2020年3月期の基本方針

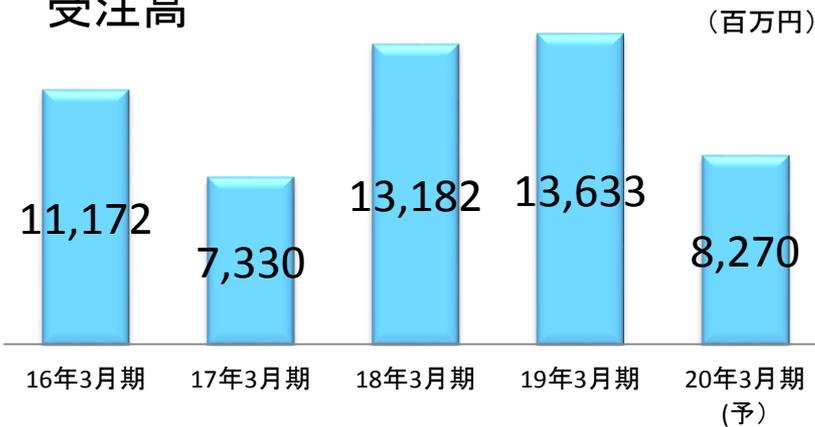
1. ロイヤルカスタマとの関係強化と新商品による新市場の開拓。

2. 新商品開発のスピードアップ。

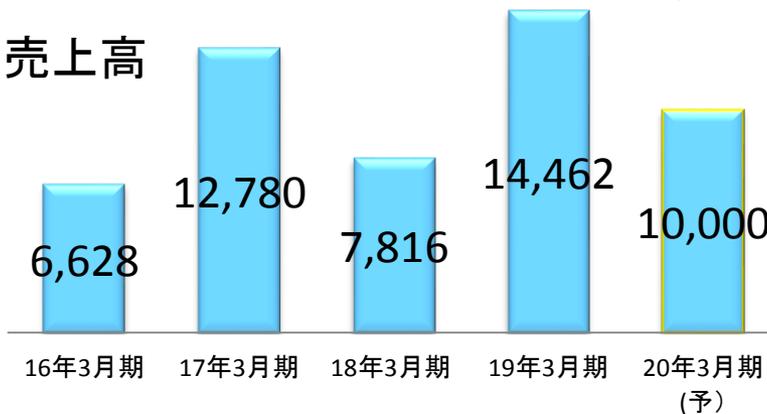
3. 製造現場の改革と国内外のサービス体制の強化。

搬送機械事業 通期見通し

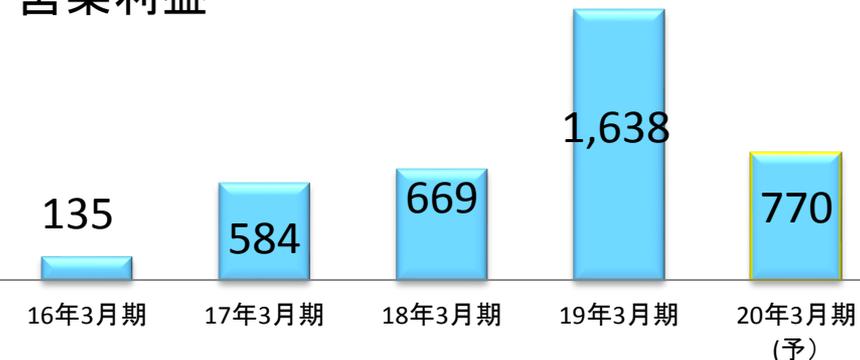
受注高



売上高



営業利益



重点施策

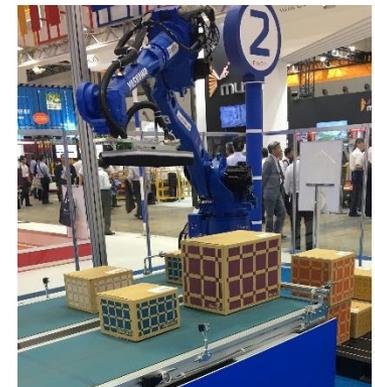
- 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、製造・販売。
- 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売。
- 特殊クレーンを標準クレーン+αで対応可能に標準化し、既存需要層向け製造・販売。
- 電池・食品・機械・流通の各業界を重点に拡販。
- (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給。
- 海外販売。(中国を中心に活動)

新商品

『多品種混載パレタイズロボットシステム』

このシステムは、3Dビジョンでコンベヤ上のケースとパレット上の積付状態をそれぞれ自動認識し、知能ロボットがティーチングレスで最適軌道を自動計算しながらパレット上に積付けていくシステム。

従来のマテハン機器と、ロボットやIoT、AI等の最先端技術をインテグレートしたシステムで、物流の自動化を実現します。



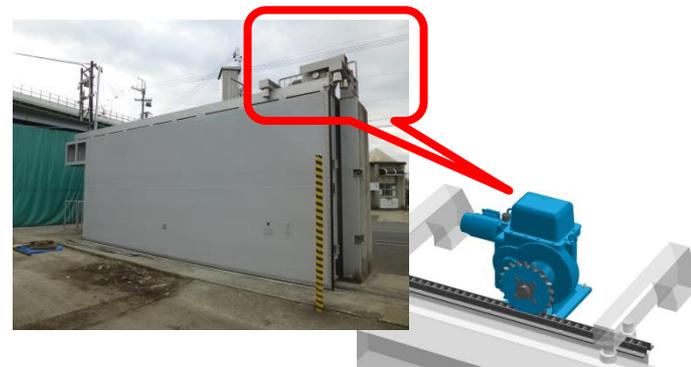
産業機械事業の概況

□ 主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置
- バルブ制御システム



(バルブアクチュエータ)
Semflex®シリーズ



(水平陸閘電動駆動装置)
水閘電®：H P Mシリーズ

□ 事業の特徴

- 高い市場占有率
- 納入実績74万台
- サービス・メンテナンス網の充実
(全国をカバー)

□ シェア (推定値)

- 上下水道 70%
- 電力・鉄鋼 20%
- 河川・ダム 40%

□ 主な納入先業界

< 業界 >
官庁関係 (厚生労働省・国土交通省・ 各地方自治体 他)
バルブ・ゲートメーカー 各社
電機・重工・造船 各社
その他

産業機械事業

2020年3月期の基本方針

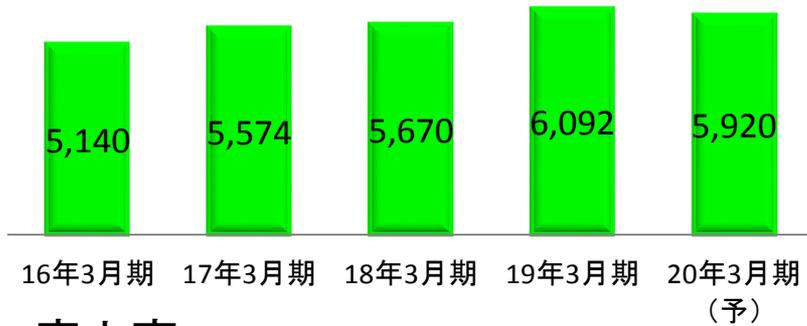
1. 民需市場の新規開拓、ならびにサービスの強化とメンテナンス受注の拡大。

2. 新規ゲートメーカーの取込みにより、シェアを拡大する。

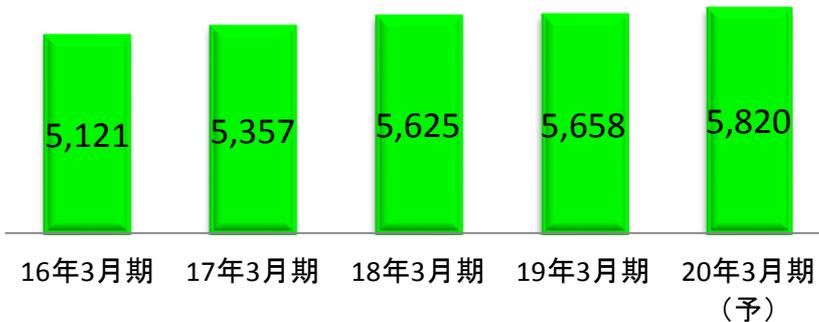
3. 海外進出のための準備と現地生産体制の構築。

(百万円)

受注高



売上高



営業利益



重点施策

- 鉄鋼などの民間企業をターゲットにPROFIBUSシステムの受注獲得。
- 国内火力発電所の新規案件の受注獲得。
- 造船・ガス分野にVMMで新規参入及び載せ替え案件の受注獲得。
- ワイヤードラム式開閉機の受注拡大。
- メンテナンス受注の獲得。
- タイでストックビジネスを開始。今後現地生産に向け活動。

新商品 『ワイヤードラム式ゲート開閉装置』



近年、発電設備用の取水口ゲートなどに使用されていたワイヤードラム式開閉機の更新需要がある。

既設の水門に応じた設計が求められ、開閉機とワイヤードラムや機械台などを含めた駆動装置として設計・生産している。

精密機械事業の概況

□ 主要商品

【放電加工機】

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）

【工作機械】

- 高精密小形NC旋盤
- 高精度複合研削盤



（放電加工機） MEX15



（工作機械） SFG-35UP

□ 事業の特徴

【放電加工機】

- プレート加工におけるピッチ精度と加工安定性において、金型業界No.1
- ワイヤ自動供給装置は、業界No.1の高評価

【工作機械】

- 小物量産旋盤加工における抜群の寸法安定性
- プレス金型等における研削加工分野への市場拡大

□ シェア（推定値）

- 放電加工機：18%（国内生産分）
- 工作機械：高精度対象商品

□ 主な納入先業界

< 業界 >
精密金型 他
自動車・航空機
電子・電機
光学
その他

精密機械事業

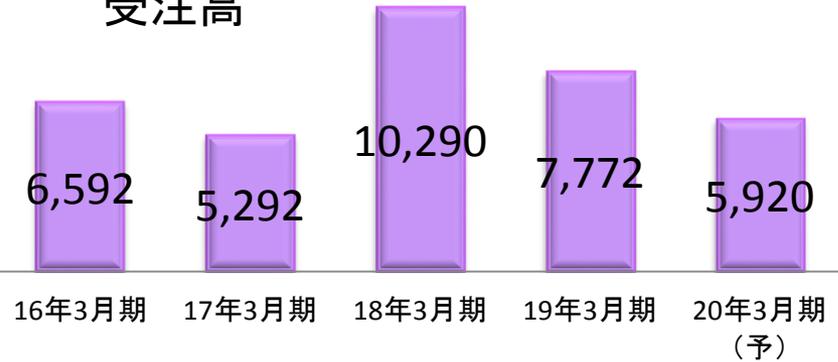
2020年3月期の基本方針

1. 地域別の販売戦略を展開し、海外受注の拡大を目指す。
2. 注目分野（放電：金型加工、工作：自動車業界）に向けたシステム開発、新ユニット開発のスピードアップ。
3. 保守、技術サポートを充実させ、顧客からの信頼度を高め、当社のブランド力と知名度をアップさせる。

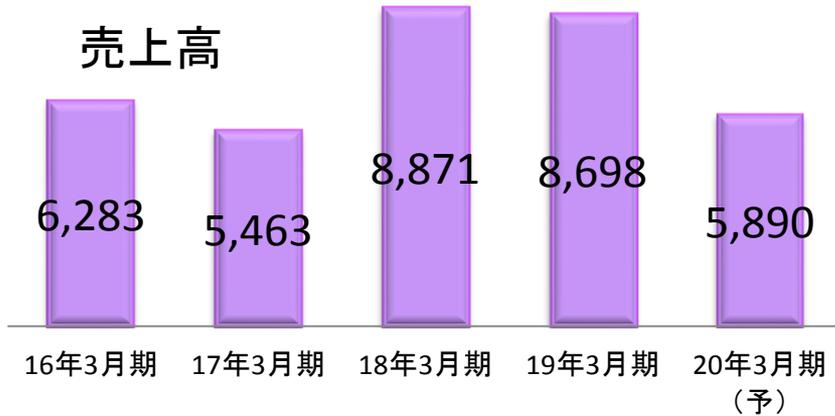
精密機械事業 通期見通し

(百万円)

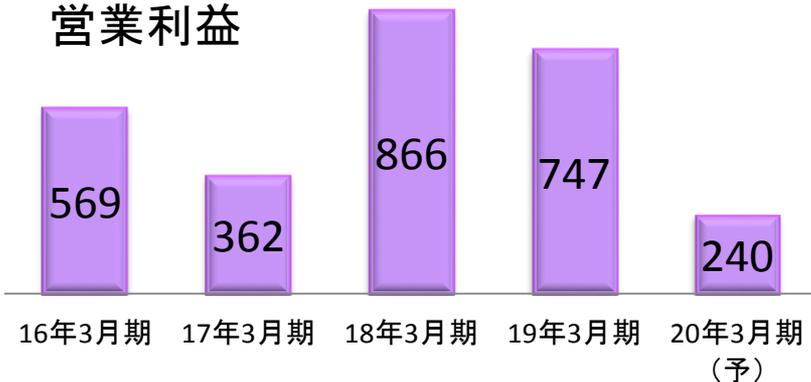
受注高



売上高



営業利益



重点施策

【放電加工機】

- 超精密加工機『M E X 1 5』の拡販。
- プレート加工に特化した超精密加工機のラインアップ完成。
- 高精度・超精密をアピールし、海外市場獲得。

重点施策

【工作機械】

- 金型業界へ高精度複合研削盤として、S F Gシリーズを国内外に拡販。
- 高生産性の客先ご評価を基に、自動車及び航空機の高精度部品加工機として拡販。

新商品

高精度自由形状内面研削盤「SFG-35UP」



最大把握ワーク外径
φ150mm対応可能な
高精度自由形状内面研削盤

- ① R・テーパなど、連続的な形状を高精度かつ高効率に加工可能。
- ② 最大把握ワークサイズφ150×L150mm
最大加工長さ100mmを実現。
- ③ 「切削＋研削」の複合加工にも対応。
- ④ 大画面の対話式タッチパネルを採用し、操作性が大幅向上。

株主還元に対する考え方

■ 配当政策

株主還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

1株当たりの配当金実績と予想（2019年5月15日現在）

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 (予定)	2020年3月期 (予想)
中間期	7.00円	7.00円	15.00円	12.50円
期末	7.00円	23.00円	25.00円	12.50円
年間	14.00円	30.00円	40.00円	25.00円

■ 株主優待

株主優待制度を実施しております。3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1单元（100株）以上保有の株主様に当社オリジナルQUOカード1,000円を贈呈いたします。

「チャレンジ 240」中期経営計画

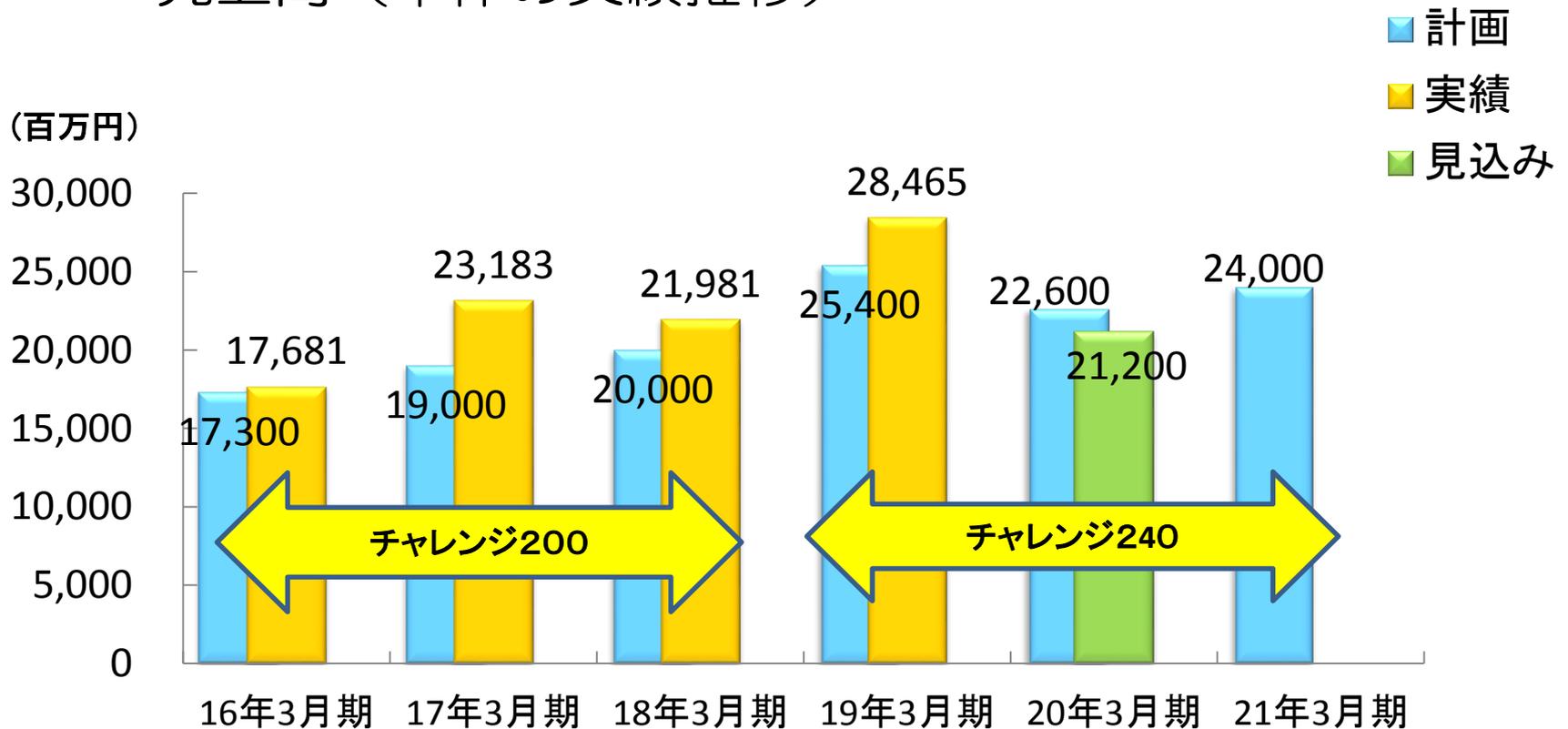
当社は、「超精密とメカトロメーション」を追求する「ものづくり企業」として、保有するあらゆる経営資源を結集し、お客様の生産性、利便性の向上に貢献する商品、サービスを市場に供給するとともに、各ステークホルダにご満足いただくように健全で継続的な成長経営を実践します。

2018年度をスタートとし、常時売上高240億円以上の確固たる基盤を作るため、3カ年の経営計画（**チャレンジ240**）を定め実施しています。

- (1) 中長期計画の達成に向けてチャレンジして行く。
- (2) 標準化とコスト低減と共に、品質改善による商品力アップを図る。
- (3) 技術開発のスピードを上げ新商品を創出する。
- (4) 海外、特に中国・東南アジア地区への拡販で、海外売上比率の向上を図る。
- (5) ロイヤルカスタマの開拓を推進し、サービスの強化による市場拡大を目指す。

「チャレンジ 240」中期経営計画

売上高（単体の実績推移）



- 中期計画チャレンジ240では常時売上高240億円以上を達成する為の確固たる基盤を構築して参ります。
- 19年度期初計画は、中期計画を下回るが、目標設定は変えず、下期上積みを図り、中間年としての計画達成を目指す。

【搬送機械事業】

特需を除き、安定的な事業規模の確立。

【産業機械事業】

安定成長・利益重視・シェア確保。

【精密機械事業】

事業部経営の安定と成長を図るために
増収・増益を達成する。

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。



西部電機株式会社

東証二部・福証（証券コード：6144）

〈お問い合わせ先〉 管理部 総務課

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

URL：<https://www.seibudenki.co.jp/>